

令和 8 年度知床岬地区仕切柵補修・新設工事の概要について

環境省 釧路自然環境事務所

1. 工事实施の経緯

環境省釧路自然環境事務所では、農林水産省と環境省により策定する「知床生態系維持回復事業計画」及び、本事務所と北海道森林管理局、北海道により策定する「知床半島エゾシカ管理計画」に基づき、知床国立公園及び知床世界自然遺産地域においてエゾシカの個体数調整に係る事業を実施している。

第 4 期知床半島エゾシカ管理計画（令和 4 年度～令和 8 年度）では、知床岬地区におけるエゾシカの生息密度を 10 頭/km²以下とする数値目標を掲げているが、直近の調査結果では当該地区の発見密度は 145.51 頭/km²となっており、目標の達成には至っていない。生息密度については年々増加傾向にあり、希少植物の保護および健全な生態系の保全、ひいては国土の保全という観点からも、より効果的かつ積極的に個体数調整を行う必要があることが知床世界自然遺産地域科学委員会エゾシカワーキンググループにおいて指摘されている。

本工事は、冬季巻き狩りによるエゾシカの個体数調整を効率的に実施するため、平成 23 年度に整備した仕切柵の補修を行うほか、仕切柵をより効果的かつ継続的に使用するため柵の新設を行うもの。（令和 8 年度の工事対象区間については調整中）

2. 仕切柵の線形について

仕切柵を新設する区間について、延長部分は林内でとどめる形とし、羅臼側に新規設置する柵は海岸ラインから見えない位置に設置予定。

希少猛禽類の営巣・育雛期を避けた 8 月以降に現地での施工を開始、10 月中に竣工予定。

5. その他

工事資材は文吉湾から搬入予定。

知床岬地区仕切柵補修・新設工事計画図

【別紙】

